

令和4年度 第2回加西市総合教育会議

次 第

日時 令和4年10月24日(月)

15時30分～

場所 加西市役所 4階会議室(大)

開 会

1 市長あいさつ

2 教育長あいさつ

3 協議事項

(1) 令和5年度予算について

(2) 「加西市未来の学校構想検討委員会」からの答申及び「加西市未来の学校構想ワークショップ」の実施状況について

4 その他

閉 会

令和4年度 第2回加西市総合教育会議 出席者名簿

■ 加西市総合教育会議委員

所属・職名等	氏名
市長	西村 和平
教育長	民輪 惠
教育長職務代理者	沼澤 郁美
教育委員	楠田 初美
教育委員	中川 和之
教育委員	深田 英世

■ 事務局

所属・職名等	氏名
ふるさと創造部長	藤後 靖
ふるさと創造部 人口増政策課長	小菊 啓靖
ふるさと創造部 人口増政策課係長	岩野 裕之
教育委員会 教育部長	千石 剛
教育委員会 教育総務課長	伊藤 勝
教育委員会 課長(未来型児童館担当)	井上 英文
教育委員会 学校教育課長	安富 重則
教育委員会 こども未来課長	丸山 常基
教育委員会 生涯学習課長	北島 悦乃
教育委員会 図書館長	伊藤 陽子
教育委員会 総合教育センター所長	工藤 憲人

令和 5 年度予算について

担当課	現状と課題	取組
教育総務課	<p>■学校施設</p> <p>耐震化工事は、平成 27 年度に完了したが、引き続き、昭和 56 年 6 月以降に建築された建物の改修工事を順次行う。</p> <p>また、各学校の照明器具の LED 化、トイレの洋式化を進めていく。</p>	<p>学校施設長寿命化計画に基づき計画的に改修工事を行うと共に照明器具の更新工事（LED 化）・トイレ改修、バリアフリー対策工事を実施する。</p>
	<p>■加西 S T E A M 教育推進事業</p> <p>先進的な教育モデルとして加西 S T E A M の取組、啓発、研究を進める。</p>	<p>兵庫教育大学や民間企業と連携し、S T E A M 教育に関する共同研究、共同事業を行う。また S T E A M ラボの活用を進める。</p>
学校教育課	<p>■ S T E A M 教育の推進</p> <p>ふるさと加西の人・もの・ことの魅力を活用した教科横断的な学びや体験的な学びに向けた魅力ある学校づくりを通して、児童生徒が自ら「問い」を立て、考え判断し、行動できる人づくりを推進している。</p>	<p>各校における「社会に開かれた教育課程」経営の重要性が高まる中、目指す児童生徒像を地域と共有しながら、探究的な学びである加西 STEAM 教育を通じて、加西市の財産となる課題解決型次世代人材の育成に向けた資質・能力を育む。</p> <p>・STEAM 教育推進事業 (学校づくり×STEAM 教育推進事業)</p>
	<p>■学力向上</p> <p>平成 19 年度から実施されている全国学力・学習状況調査について、加西市の児童生徒の結果を経年的に分析すると、小・中学校ともに概ね全国平均並みの水準にある。その内実を分析すると、自尊感情や探究心が高い児童生徒ほど、問題の平均正答率が高い傾向にある。よって、今後も、自尊感情や探究心を高めて学びに取り組み、児童生徒一人一人の個性と可能性を伸ばす教育を</p>	<p>全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業改善や、児童生徒の学びの探究心を高める教員の指導力向上を図る。</p> <p>GIGA スクール構想における 1 人 1 台端末の利活用によって、個別最適な学びの実現を目指す。</p> <p>・学力向上プロジェクト事業 ・スクールサポーター事業 ・STEAM 教育推進事業</p>

	<p>推進していくことが求められる。</p> <p>■学校図書館</p> <p>文部科学省により、「第6次学校図書館整備等5か年計画」が策定され、国野定める図書標準冊数にもとづく学校図書館の図書数の確保とともに、加西市立図書館がすすめるスマート図書館構想による図書環境の整備を推進している。読書好きな児童生徒を増やし、授業で新聞・図書を使って思考力や判断力、表現力を育み、探究的な学習活動を通じて、児童生徒の情報活用能力を育成していく必要がある。</p> <p>■外国語教育・国際理解教育</p> <p>小・中学校での外国語教育及び国際理解教育のさらなる充実を図り、加西市で外国語教育・国際理解教育を受けた児童生徒が、世界の多様な他者と対等に関わり、自分自身の力で人生を切り拓いていく力を育成する必要がある。</p> <p>■教職員の働き方改革</p> <p>「加西市教育職員の勤務時間に関する規則」の制定し、教育職員の業務量の適正な管理及び健康の確保について実行力ある取組が求められている。しかしながら、現状では、新型コロナウイルス感染症対策や繁忙期などの業務では勤務時間の適正化が難しく、児童生徒と向き合う時間の確保に課題がある。</p>	<p>・かさいがんばり学びタイム</p> <p>児童生徒の主体的で探究的な学習活動を進め、学力向上につなげるため、各校における新規図書購入費、新聞の複数の配備費を支援するとともに、市立図書館のスマート図書館事業や学校図書館コーディネート事業による支援を受け、学校図書館の充実を図る。</p> <p>・学力向上プロジェクト事業 ・学校図書館コーディネート事業</p> <p>加西市が目指す次世代課題解決型人材の育成を視野に入れ、小学校における外国語教育の授業時間数増への対応、中学校での英語力向上を図る。</p> <p>・ALTの配置 ・英語が堪能な地域人材の活用 ・英検助成</p> <p>各校における学校業務改善を図るため、支援員等外部人材の拡充配置・ICTを活用した校務のDX化により、さらなる教員の負担軽減を図る。</p> <p>・スクールサポーター事業 (学習支援、ICT支援員、特別支援、部活動指導、学校事務等) ・クラウド型デジタル採点システム及びデジタル返却システムの活用 ・校務支援システムの活用 ・メンタルヘルス(ストレス)チェック・産業医面談実施の体制整備</p>
--	--	--

こども未来課	<p>■保育教諭の確保と人材育成</p> <p>幼児期の教育・保育の質の向上を進めていくには、保育教諭の雇用と人材育成が大きな課題となっている。私立園の職員の雇用を促進するため、就労を開始した月から最長3年間、月額2万円、最大72万円の支援金を保育教諭に支給する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育人材確保対策補助金 ・就職フェア等の雇用支援
	<p>■保育料完全無料化(0～2歳児)による保育教諭確保対策</p> <p>子育てにやさしいまちづくりを目標に、子育て支援策として、また、保護者の就労意欲向上の支援策として保育料を無償化した。これにより増加の見込まれる保育ニーズに対応し、0歳からの保育支援をするため保育教諭の緊急的な確保対策を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育人材確保対策補助金(緊急確保対策補助金) ・私立こども園等人材確保対策補助金 ・保育教諭宿舍借上げ補助金
生涯学習課	<p>■加西市文化財保存活用地域計画</p> <p>同計画に基づき、歴史文化遺産を活かしたまちづくりを推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・加西市文化財保存活用地域計画協議会の開催 ・地域の歴史文化遺産を活かした活動への支援
	<p>■史跡玉丘古墳群整備</p> <p>平成27年度に策定した「史跡玉丘古墳群整備基本計画」を時点修正するとともに、未整備の古墳整備を実施する必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡整備委員会を開催し玉丘古墳の整備を実施。 墳丘の繁茂しすぎた樹木が、墳丘を損なう状況になっているため樹木伐採を行う。 ・き損古墳の修繕を整備と並行して実施する。
	<p>■玉丘史跡公園の修繕</p> <p>老朽化した施設の改修を計画的に行い、利用者の安全を確保する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公園植栽の整備 ・公園内手すり等の改修 ・園内建物の修繕 ・市の施設整備事業と調整し、公園整備を進める。
	<p>■埋蔵文化財整理室の整備</p> <p>埋蔵文化財整理室は老朽化による雨漏りが頻発し資料保存に支障をき</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・加西市の歴史を未来に伝えていくための拠点施設としての展

	<p>たしており、新たな資料収蔵施設が急務となっている。</p>	<p>示機能と整理室機能を備えた施設を、移転・新築等も視野にいった総合的な再整備計画を検討する。</p>
	<p>■各種教室の開設</p> <p>公民館・オークタウン加西のあり方検討委員会を踏まえ、生涯学習の拠点施設として幅広い世代の方が気軽に参加できる講座を企画、実施する。</p> <p>従来の社会的課題解決等の各種講座等を更に内容を充実させる。</p>	<p>令和4年度にSTEAMラボを活用し、学校や図書館、地域とも連携を進める。また、従来の講座に加え、STEAM教育を取り入れた講座などを企画し、利用の少ない層を取り込めるような運営方法についても検討する。</p>
	<p>■公民館施設整備</p> <p>老朽化した施設の改修を計画的に行い、環境改善に取り組む必要がある。特に照明のLED化を図る必要がある。</p> <p>R3年度 体育館LED化、屋根防水シート、クロス張替等</p> <p>R4年度 本館LED化、クロス張替等</p>	<p>引き続き本館のLED化を図る。また、老朽化した施設の修繕を計画的に実施する。</p>
	<p>■オークタウン加西施設整備</p> <p>昭和61年施工、設備の更新ができていないため、老朽化が進んでいるため、順次施設の環境改善に取り組んでいく必要がある。</p> <p>R3年度 体育館LED化、廊下床クロス張替</p> <p>R4年度 研修棟LED化、トイレ排水、外壁等修繕</p>	<p>引き続き研修棟LED化を図る。また、感染症予防の観点から、洗面所の自動混合水栓を整備する。</p>
総合教育センター	<p>■教職員の資質・能力の向上</p> <p>大量退職・大量採用の時代を迎え、若手教育の割合が急増し、一方で学校の小規模化による教員減により、これまでの教育の継承やスキルの伝達が困難な状況にある。</p> <p>さらに、ICT教育とした新しい教育</p>	<p>教職員のキャリアステージや専門分野に応じた講座、ICT活用や加西STEAM教育などの新しい教育に向けた講座、生徒指導等の喫緊の課題解決に向けた講座、校内研修・教科担当者会を</p>

	<p>への対応、多様で困難な生徒指導への対応、免許更新制の廃止等により、これまで以上に総合教育センターによる研修講座の充実が求められている。</p>	<p>支援した講座等のさらなる充実を図る。</p> <p>また、講師の選定、実施日程、研修形態（集合、オンライン、ハイブリッド、マイクロラーニング形式）等、現場のニーズに応えた講座を実施する。</p>
	<p>■校内フリースクールの設置</p> <p>全国的に不登校が増加し、加西市でも増加傾向であり、その支援について居場所や多様な個別対応ができる体制づくりが急務である。</p> <p>現在、不登校児童生徒のために市が設置している居場所は教育支援センター「ふれあいホーム」のみである。学校現場でも別室登校の対応をしているが、教職員は授業や目の前にいる児童生徒の指導があり、不登校生のタイミングでの対応は困難である。</p> <p>この現状を受け、市として、不登校児童生徒が個々の目指す目標や登校形態に合わせた支援ができる体制づくりが必要である。</p>	<p>全国的にも注目されている校内フリースクールを拠点校方式で2つの中学校に設置し、ニーズに応じた居場所や活動の提供できる支援体制を充実させ、学校のサポートを行う。そのため、対応できる知識とスキルのある支援員の配置と活動できる教室環境整備を行う。</p> <p>また、これにより、現在ある教育支援センターの目的、活動内容を見直し、より幅広くより自由な校内フリースクールと違った受入体制をつくる。</p> <p>これら2つの支援体制により、不登校児童生徒の選択肢を増やし、個に応じた支援と不登校児童生徒のニーズに応じた支援体制を整える。</p>
	<p>■発達支援プログラムの拡充</p> <p>発達支援に関するニーズは年々高まっており、総合教育センターでは、発達に特性のある児童対象のプログラムトレーニングを毎週水曜日に実施している。しかし、現在の参加者数で実施可能定員に達しており、新規受入が不可能な状況にある。</p>	<p>参加希望者と面談を重ね、適切に必要な支援やスキルを探り、プログラムを決定する。</p> <p>専門的な知識とスキルのある発達支援アシスタントを確保し、参加希望者に向け、効果的なプログラムトレーニング機会を提供できるようにする。</p>
	<p>■体験学習にかかる交通費補助</p> <p>ふるさと加西市の地域教育資源を活用した「あびき湿原環境学習」「鶉</p>	<p>令和4年度、交通費補助を希望した学校数は、あびき湿原環境</p>

	<p>野飛行場跡平和学習」、また中一ギャップの解消を目指した小小・小中連携教育を、体験学習として取り組んでいる。来年度より飯盛野疎水や関連施設の見学も取り入れ、これまでの取組を継続しながら、STEAM や地域とも関連させ、より充実した学習に発展させる。</p> <p>各体験学習が教育課程に定着、拡充しているため、交通費補助額の増額が必要である。</p>	<p>学習 11 校、鶉野飛行場平和学習 11 校、小小・小中連携は 4 中学校区全てである。</p> <p>来年度には加古川西部土地改良区や北条高校とも連携し、令和 4 年度は 11 校希望のあった、飯森野疎水や関連施設見学補助も行う。</p>
	<p>■学校運営協議会の充実</p> <p>「地域に開かれた学校」から、目標やビジョンを地域住民や保護者と共有し、地域と一体になって子どもたちを育む「地域とともにある学校」へ向け、学校運営協議会の設置が努力義務化されている。加西市教育委員会では、令和 2 年度に検討委員会を開いて「加西市学校運営協議会規則」を策定、令和 3 年度を周知期間、令和 4 年度を準備期間とし、令和 5 年度より全ての加西市立学校に学校運営協議会を設置する。</p>	<p>学校運営協議会設置に向け、校長会や学校訪問を通し、学校長に説明、校内や学校評議員への周知依頼を進めてきた。今後、文科省 CS マイスターによる教職員対象、委員候補者対象の研修会を実施し、理解を深めていく。</p> <p>学校運営協議会規則に基づき、各校最大 1 2 名の委員を任命し、地域と連携した議論や活動を通して、学校を地域が共に運営していくコミュニティ・スクールを推進していく。</p>
	<p>■総合教育センター公用車配備</p> <p>本庁への文書送付、本庁での会議や打ち合わせ、移動図書館や地域コーディネーターの活動、こども園や小中特別支援学校からの相談・支援要請に対する訪問、生徒指導等の緊急の対応等のため、15 名程度の職員が頻繁にセンター外へ出る業務がある。しかし、公用車がないため、青色パトロール車か、私用自動車での移動をセンター職員は行っている。本庁へ公用車を借用するためにも私用自動車での移動が必要となる。</p>	<p>センター所有の公用車を配備することで、頻繁に起こる庁舎への移動や各種訪問等に係る個人負担軽減をし、職員の業務・サービスが円滑に実施できるようにする。また、安全性を高め、エコカーによる環境に配慮した取組を図る。</p>
図書館	■資料の充実	

	<p>図書館内及び子どもの読書活動推進のための資料の充実を図る。</p>	<p>図書館内及び学校図書館との連携用資料等を充実させる。</p>
	<p>■集客力の向上</p> <p>来館者数が減少しており、複合商業ビルに設置された図書館として、集客力の向上を図る必要がある。アスティアかさい内事業所との連携事業も含め、積極的なイベント展開が必要である。</p>	<p>イベント等の充実により、親子連れや一般利用者の来館を増やし図書館の活性化を図る。それとともに複合商業ビル内の回遊性を図るための施策を実施するなど、連携を強化することで全体の活性化を図る。</p>
	<p>■スマート図書館ネットワーク事業</p> <p>令和4年度に、公共・学校図書館システム、電子図書館システム、図書館システムの機能強化を一体的に構築。システムの安定稼働を継続し、図書資料を通じて各施設の連携を図る。</p>	<p>システムを活用して公共・学校図書館の資料を確認し、学校からの本の貸出依頼や図書整理の相談に的確にスピーディーに対応する。また、継続的に電子書籍のライセンスを購入することで、高齢者、障害者、外国人等多様な利用者へのサービス向上を図る。</p>
	<p>■図書館照明のLED化</p> <p>蛍光灯が生産中止になるため、令和4年度において、図書館内の照明器具等をLED照明に更新するための工事実施設計を行った。令和5年度に改修工事を行う。</p>	<p>令和5年度に改修工事を行い、図書館内の照明器具約1400台をLEDに交換する。消費電力の削減、経費削減を図り、CO2削減による地球温暖化防止に貢献する。</p>
	<p>■図書館テラス床修繕</p> <p>図書館が開館し20年になる。テラスの床が経年劣化により腐食が進んでいるため、状態の悪い部分を修繕する必要がある。</p>	<p>経年劣化により腐食しているテラスの床を部分修繕することにより、利用者の方に、快適な環境を提供する。</p>

「加西市未来の学校構想ワークショップ」の実施状況について

- 1 目的 市民への「加西市未来の学校構想(答申)」の周知・理解と意見聴取
- 2 事務局 ふるさと創造部人口増政策課・教育委員会
- 3 開催日 【第1回】10月12日(水)18:30~20:30
【第2回】10月22日(土)10:00~12:00
【第3回】11月7日(月)14:00~16:00
- 4 プログラム ・「加西市未来の学校構想」(答申)説明 ➡ 質疑応答
・ワークショップ(グループ討議) ➡ 意見発表 (※5~6名/グループ)

第1回 (令和4年10月12日(水)午後6時30分~午後8時30分)

参加者数	58名(11グループ)						
性別	男性			女性		その他・未回答	
	36名			22名		0	
年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
	0名	4名	12名	24名	10名	7名	1名
区分	保護者の方				保護者以外の方		
	24名				34名		



第2回 (令和4年10月22日(土)午前10時~正午)

参加者数	60名(11グループ)						
性別	男性			女性		その他・未回答	
	25名			34名		1名	
年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
	12名	2名	9名	20名	9名	6名	2名
区分	保護者の方				保護者以外の方		
	21名				39名		

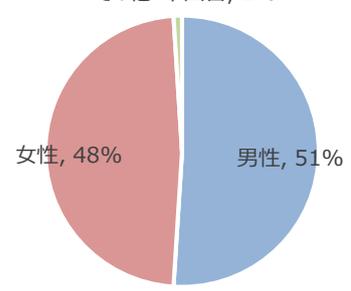
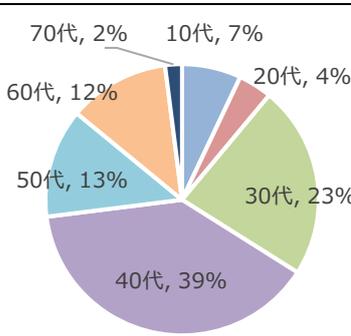
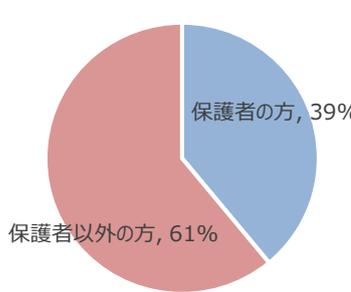


第3回 (令和4年11月7日(月)午後2時~午後4時)

参加者数	46名(9グループ)						
性別	男性			女性		その他・未回答	
	24名			22名		0	
年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
	0	0	16名	21名	2名	7名	0
区分	保護者の方				保護者以外の方		
	19名				27名		

※第3回は開催前のため、10/24時点での予約状況となります。

全体概要

参加者数	164名(31グループ)							
性別	男性	女性		その他・未回答			 <p style="font-size: small;">その他・未回答, 1% 女性, 48% 男性, 51%</p>	
	85名	78名		1名				
年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	 <p style="font-size: small;">70代, 2% 10代, 7% 20代, 4% 30代, 23% 40代, 39% 50代, 13% 60代, 12%</p>
	12名	6名	37名	65名	21名	20名	3名	
区分	保護者の方			保護者以外の方				 <p style="font-size: small;">保護者の方, 39% 保護者以外の方, 61%</p>
	64名			100名				

主なご意見（第1回ワークショップより）

カテゴリ	ご意見
中学校の部活動	●部活動の選択肢が広がる ●部活動の指導者の目途は立っているのか？ ●中学校のクラブ活動はバリエーションも柔軟に増やしてほしい
学校の統合について	●中学校がクローズアップされている。小学校の再編も考えるべき ●いろいろな特性を持った人と関わる機会が増えるのがいい ●統合される3中学校の跡地どうなる？ ●小学校は1クラスになっても残すべき！ ●交遊関係が広がるのは歓迎
スクールバス	●バス通学になると、先生の登下校指導や立ち番の負担減!!安全!! ●スクールバスの時間帯、通勤車との渋滞は大丈夫か？ ●小・小交流用のバス(無料)がほしい
その他	●制服どうなるの？ ●クラスの人数が増えるとイジメを見抜けるのか？ ●ICTを使った授業が楽しみ！ ●ICT環境の整備がさらに進んでほしい